

ホルムアルデヒド放散等級区分

F ☆ ☆ ☆ ☆

居室内で無制限に使用できます

HYPER YUMEROCK シリーズ

ラジカル制御タイプ (HYPER YUMEROCK)

ROCK PAINT

ハイパーユメロック

弱溶剤2液型低汚染リアルハイブリッドシリコン樹脂塗料
ラジカル制御タイプ

ユメロック®

弱溶剤2液型NADシリコンウレタン樹脂塗料

特 長

1. 低汚染性

帯電防止効果のある特殊成分配合により、親水性の高い塗膜を形成し、汚染物を降雨で浮かせ流します。

2. 高耐候性・高耐久性

ハイパーユメロックは特殊三元ハイブリッド形アクリルシリコン樹脂と特殊コーティングチタン顔料及びラジカル吸着安定剤（HALS）の効果により、すぐれた耐候性・耐久性を発揮。ユメロックは変退色や光沢の低下が小さく、また衝撃や寒暖の差による塗膜の割れが起きにくくなっています。

3. 作業性抜群、仕上がり良好

NAD樹脂の特性を生かしたレオロジーコントロール技術により、塗装しやすく、高級感のある美しい仕上がりが可能です。

4. 塗料用シンナー希釈型・臭気マイルド

溶解力の弱い溶剤を使用しているため、旧塗膜を侵しにくくにおいもマイルドなため、周辺地域や作業環境にも配慮しています。

5. 防藻・防カビ性

防藻・防カビ剤の配合により、カビや藻類の発生を抑え、長期間にわたり清潔な住環境を維持します。

6. 環境低負荷

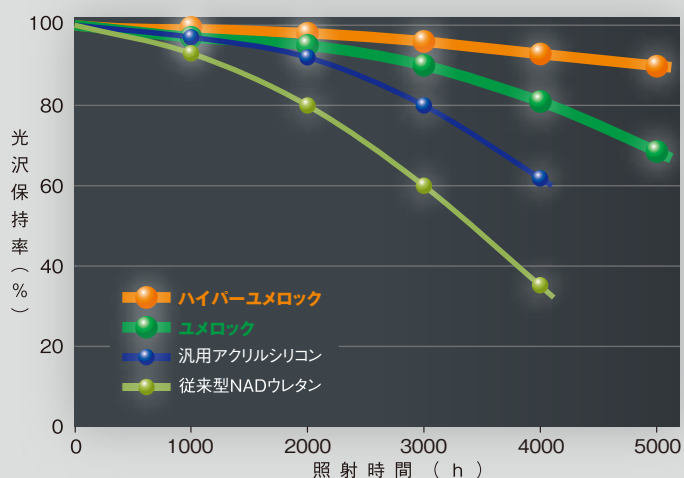
鉛・クロムなどの有害な化合物を原料として配合せず、環境にやさしい塗料です。

7. 幅広い用途適性

外壁のみならず、鉄・非鉄金属部などの新設、塗り替え改修用としてご使用できます。また木部弾性用硬化剤を選択することで木部面や躯体のクラックに追従する弾性塗膜の仕上げが可能です。

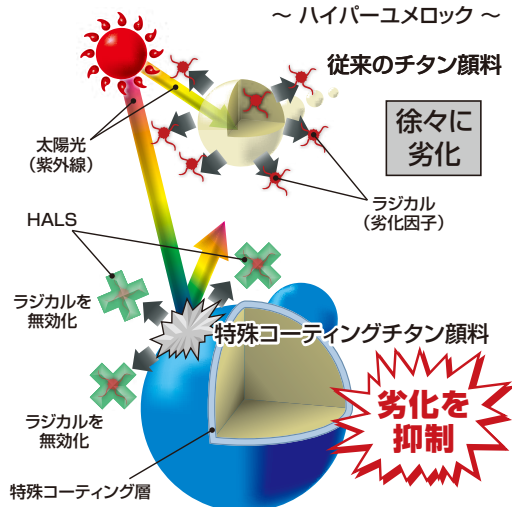
耐候性比較

〔キセノンランプ促進耐候性試験〕



【ラジカルコントロールメカニズム】

～ ハイパーユメロック ～



低汚染性

～ ハイパーユメロック ～
耐雨すじ汚染性比較試験結果



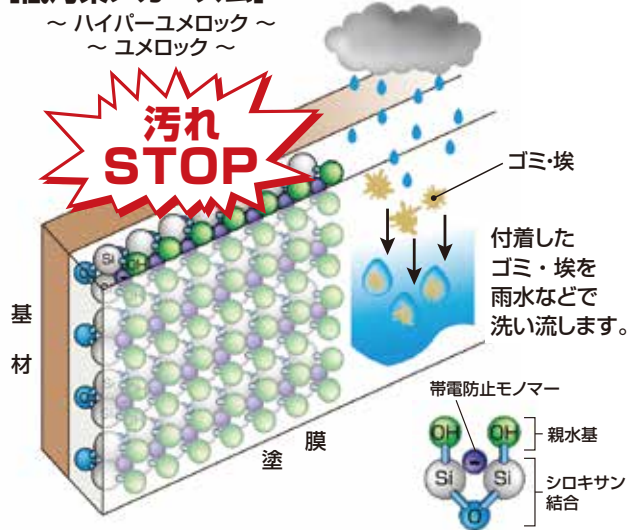
ハイパーユメロック



汎用
アクリルシリコン樹脂塗料

【低汚染メカニズム】

～ ハイパーユメロック ～
～ ユメロック ～



用 途

- 屋内外のコンクリート、モルタル、鉄・非鉄金属部、木部などの新設及び塗り替え。
- サイディングボード、硬質塩ビなどの塗り替え。
※アクリル板、軟質塩ビには塗装できません。
※鉄、非鉄金属部に塗装する場合は、必ず下塗りに適性のあるサビ止めペイントを塗装してください。

標準塗装仕様

【コンクリート系外装材の塗り替え（可とう形改修塗材E使用）】

工程	塗料名	希釈剤	塗装方法・希釈率（%）	塗装回数	標準塗付量 (kg/㎡・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分は、皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具で完全に除去する。 また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは、高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	032-2106 ビニロックエラストックフィラーⅢ (可とう形改修塗材E)	水	ハケ、ローラー： 5～10 エアレス： 5～10	1	0.3～0.5	8時間以上
			砂骨ローラー： 1～ 5		0.8～1.5	
上塗り①	114ライン ハイパーユメロック 指定色 配合比(重量) 主剤:硬化剤 = 9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	2	0.11～0.13	2時間以上 7日以内
上塗り②	114ライン ユメロック 指定色 配合比(重量) 主剤:硬化剤 = 9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	2	0.11～0.13	2時間以上

注) ●弾性仕上げの場合、硬化剤は木部弾性用の硬化剤を使用してください。
●ビニロックエラストックフィラーⅢの塗装用具は上記の他にリシンガン、タイルガンも使用できます。

【鉄部・非鉄金属部の塗り替え】

工程	塗料名	希釈剤	塗装方法・希釈率（%）	塗装回数	標準塗付量 (kg/㎡・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜のはがれかかった部分、ふくれ部分等劣化塗膜はケレン具で除去する。黒皮、さびなどは電動工具、手工具を用い入念に除去する。 チョーキング面や汚れ等はサンドペーパーで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	061ライン 2液型サビカット 各色 配合比(重量) 主剤:硬化剤 = 9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー： 0～ 5 エアレス： 5～10	1	0.13～0.15	4時間以上 7日以内
上塗り①	114ライン ハイパーユメロック 指定色 配合比(重量) 主剤:硬化剤 = 9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	2	0.11～0.13	2時間以上 7日以内
上塗り②	114ライン ユメロック 指定色 配合比(重量) 主剤:硬化剤 = 9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	2	0.11～0.13	2時間以上

注) ●下塗りには1液型変性エポキシ系の「サビカットⅡ」「サビカットプラス」や、溶剤型2液変性エポキシ系「ロックエポキシハイプライマー」、または水性エポキシ系「ハイプライマーアークア」を使用することもできます。特に高防食性を必要とする場合や、亜鉛の目付量の多い鋼板には「2液型サビカット」または「ロックエポキシハイプライマー」を推奨します。
●新しい亜鉛メッキ鋼板の場合、3～4か月屋外放置後光沢がなくなってから塗装してください。

【窯業系サイディングボードなどの塗り替え】

工程	塗料名	希釈剤	塗装方法・希釈率（%）	塗装回数	標準塗付量 (kg/㎡・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分は、皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具で完全に除去する。 またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは、高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	032-2001 ロックSBフィラー	水	ハケ： 1～ 5 ローラー： 1～ 5	1	0.2～0.4	3時間以上
上塗り①	114ライン ハイパーユメロック 指定色 配合比(重量) 主剤:硬化剤 = 9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	2	0.11～0.13	2時間以上 7日以内
上塗り②	114ライン ユメロック 指定色 配合比(重量) 主剤:硬化剤 = 9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	2	0.11～0.13	2時間以上

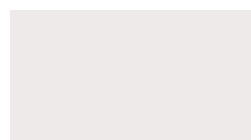
注) ●下塗りは他にエポシーラーマルチ、ロックカチオンシーラーマルチⅢ、ハイパーシーラーエボ、ハイパーシーラーアークアなどがあります。
●溶剤型の下塗りを使用する際は、旧塗膜の種類、付着状態によりリフティングを生じるおそれがありますので、あらかじめ試し塗りをしてください。

【木部】

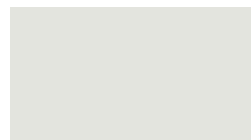
工程	塗料名	希釈剤	塗装方法・希釈率（%）	塗装回数	標準塗付量 (kg/㎡・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	オービタルサンダーでP180～P240ペーパーを用いて、汚れ、付着物、ケバダチを除去して平滑な面にする。 木のヤニは削り取るか、又は焼きゴテで処理し、揮発油で拭き取る。 節およびその周辺はセラックニスで節止めを行い、穴埋めの必要なときはロックポリパテで穴埋めを行う。					
下塗り	051ライン ロック木部用マルチ下塗り 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	1	0.12～0.20	4時間以上 7日以内
上塗り①	114ライン ハイパーユメロック 指定色 配合比(重量) 主剤:硬化剤 = 7.5:1 ※木部・弾性用硬化剤を使用	塗料用シンナー	ハケ、ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	2	0.11～0.13	2時間以上 7日以内
上塗り②	114ライン ユメロック 指定色 配合比(重量) 主剤:硬化剤 = 9:1 ※木部・弾性用硬化剤を使用	塗料用シンナー	ハケ、ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	2	0.11～0.13	2時間以上

※木部に塗装する場合には、「木部・弾性用硬化剤」を使用してください。木の材質、下地の状況によっては、割れ、はがれを生ずることがありますので、事前に試し塗りなどを実施し、確認してください。
注) ●木部については、用途(カウンター、テーブル、椅子、棚、床等)により塗装に適さない場合がありますので、弊社営業までお問い合わせください。

ユメロック® 常備色



↑ 0209 オフホワイト (RP-N90)



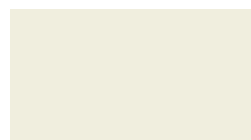
↑ C056 (RP-311)



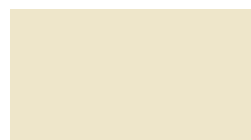
↑ C057



↑ C248



↑ C111 (RP-216)



↑ C710 (RP-201)



↑ C331 (RP-200)



↑ C332

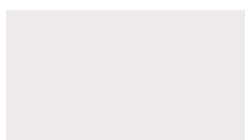


↑ C479

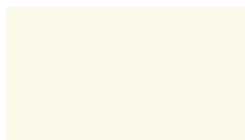


↑ C307

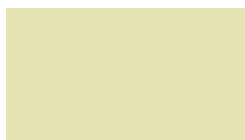
ハイパーユメロック 常備色



↑ 5209 オフホワイト (RP-N90)



↑ RP-212 (5Y9.2/1)



↑ RP-215 (5Y8.5/3)



↑ RP-205 (2.5Y8/4)



↑ RP-100 ※ (2.5YR7/6)



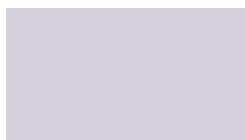
↑ RP-020 (7.5R7/6)



↑ RP-231 (10Y7.5/4)



↑ RP-320 ※ (7.5GY6/2)



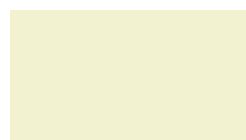
↑ RP-810 (5P8/2)



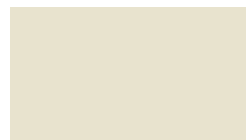
↑ RP-630 ※ (10B5/2)

外装仕上用提案色

常備色と提案色は日本の建物外壁によく使われている実用性の高い人気色です。



↑ RP-210 (5Y9/2)



↑ RP-204 (2.5Y8.5/1.5)



↑ RP-130 (10YR8/2)



↑ RP-132 (10YR7.5/2)



↑ RP-203 (2.5Y7/2)



↑ RP-110 (5YR7/4)



↑ RP-120 ※ (7.5YR7/4)



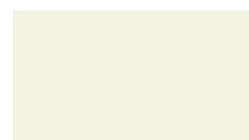
↑ RP-134 (10YR6/4)



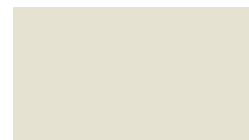
↑ RP-121 ※ (7.5YR5/2)



↑ RP-030 ※ (10R3/3)



↑ RP-220 (7.5Y9/1)



↑ RP-213 (5Y8.5/1)



↑ RP-202 (2.5Y8/1)



↑ RP-214 (5Y7.5/1.5)



↑ RP-211 (5Y7/1)



↑ RP-137 (10YR6.5/2)



↑ RP-135 (10YR6/1)



↑ RP-133 ※ (10YR5/1)



↑ RP-N50 (N5)



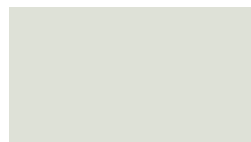
↑ RP-255 ※

※印の色の価格は割高となります。

● ユメロック常備色の色番号は、下四桁の品番と同じです。ご注文の際は頭にライン番号を付けてご注文ください。

例) C056 の場合、114-C056

施工上の注意事項



↑ RP-310 (5GY8.5/0.5)



↑ RP-230 (10Y8/1)



↑ RP-N80 (N8)



↑ RP-N75 (N7.5)



↑ RP-131 (10YR7.5/0.5)



↑ RP-N70 (N7)

(注)

- この見本帳は紙に塗装されていますので、実際の塗料に比べ色・光沢に差異があります。色彩については塗り板等で確認してからご注文ください。
- 塗料価格は色によって異なります。
- 広い面積を塗装する実際の現場施工の場合、色・光沢が見本帳と異なって見える場合があります。
- 色見本は保管条件、保管期間により、少しずつ変化していくおそれがありますので、有効期限（2026年5月）を守ってください。

- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 塗装中および塗装後24時間は5℃以下にならない場所で使用してください。また、湿度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- たえず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 塗料液と硬化剤には、湿気と反応する成分が含まれています。貯蔵の際は密栓し、冷暗所に保存してください。また、開栓後はできるだけ早めにご使用ください。水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 調色には必ず114ライン 各製品専用原色または、ロックトーンカララント3000（ベースの5%以内）を使用してください。ただしロックトーンカララント3000を使用する場合、フラットベースの使用は避けてください。
- 硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がり外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- 硬化剤を配合した塗料はしだいに固化して使用できなくなりますので、可使用時間内に使い切ってください。（可使用時間：ハイパーユメロック、ユメロック 7時間[23℃]、4時間[30℃]、2液型サビカット 5時間[23℃]、3時間[30℃]）
- 希釈には必ず塗料用シンナーを使用してください。他種のシンナーを使用すると塗料中の樹脂が破壊されて使用できません。また必要以上に希釈するとタレや色分かれの原因になります。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- ビニロックエラストックフィラーⅢを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りを行い、その後ならし塗りをし、塗り継ぎにムラが生じないように行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- スプレーノズルの先端は、時々洗浄してください。作業能率の低下および塗りムラの原因になります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がありませんので、金属製の部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- シーラーを吸い込みの著しい部材に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
- 塗色が濃色の場合、塗膜を強くこすると色落ちすることがありますので注意してください。
- ドアパッキン、緩衝材など可塑剤を含むプラスチック製品に塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりすると軟化することがありますので、塗装は避けてください。
- 屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築用シーラーで適切なものを使用してあらかじめ下塗りをしておいてください。
- エマルションパテの外部での使用は避けてください。
- 改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りすることをおすすめします。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜（弾性リシン、弾性スタッコ）やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など）を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材への塗装は、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮割れなどを起こしたり、表面が汚れてくる場合がありますので塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合、シーリング材が完全に硬化後、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマー S」を塗装してください。またプライマーで処理してもシーリング材の種類によっては汚れ、付着不良、剥離、収縮割れが発生する場合があります。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増し打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えをご検討ください。
- 比較的緻密な素材である押し出し成形板やGRC板へ塗装する場合は、ハイパーシーラーエポを下塗りとして使用してください。
- フッ素コート処理をはじめ無機系や光触媒の処理のサイディングボードには、ハイパーシーラーエポを下塗りを使用してください。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となることがあります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- 夏場の高温時は、硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。上塗りとの付着性が低下します。
- この塗料はホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆タイプの塗料です。塗装工程上F☆☆☆☆以外の材料（被塗物、素地を含む）を使用したり、塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆でなくなることがありますので注意してください。
- 低汚染性については、被塗物の種類や建物の形状により、また、施工後特に塗膜が十分に乾燥する前、もしくは乾燥して初期の段階で天候不良であった場合、その効果が十分に発揮されない場合があります。
- 笠木、天端など長時間水が溜まる箇所では、塗膜の白化、ふくれが発生することがありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- つやの調整品は、被塗物の形状、状態、塗装膜厚や塗色などにより、実際のツヤと少し違って見える場合があります。あらかじめ試し塗りを実施し確認してください。また塗り継ぎや補修の際につやむらが出やすいため、面を切って通しで塗装してください。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分に行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- 硬化剤はイソシアネート化合物を含んでおり、スプレーダストを吸引すると鼻、のど、気管支などに障害を起こすことがありますので、換気を良くし、適切なマスクを着用して作業を行ってください。過去にアレルギー症状を経験している人は取扱わないでください。
- 上塗りに鮮やかなエロー系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠蔽性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色（近似色）で下塗り塗装した後、上塗り塗装してください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- 引火性の危険物および、健康に有害な有機溶剤などを含有していますので、製品容器の注意書きおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上及び取扱上の注意

〔製品の危険・有害性〕

- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になるおそれがある。
- 目、皮膚、粘膜などに対し刺激性がある。

〔救急処置〕

- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

〔取扱注意事項〕

- 取扱は引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服の着用や取扱は避けてください。
- 取扱作業所には、局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着などを着用してください。
- 取扱後は手洗い及びうがいを十分に行い、作業着などに付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをし、直射日光を避け、5℃以上40℃以下で子どもの手の届かない場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 指定された以外の製品と混合しないでください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 安全データシート(SDS)をよく読んで取り扱ってください。

〔施工後の安全性について〕

- 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

ロックペイント 株式会社

東京営業部／〒136-0076／東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000
大阪営業部／〒555-0033／大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1650 FAX (06)6473-1000
札幌営業所／〒003-0011／札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX (011)812-9304
仙台営業所／〒983-0044／仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号渡正ビル201 ☎(022)349-8677 FAX (022)283-3255
西関東営業所／〒252-0131／神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX (042)700-3112
名古屋営業所／〒454-0059／名古屋市中川区福川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433
岡山営業所／〒701-1134／岡山市北区三和1000番34 ☎(086)294-1201 FAX (086)294-6966
福岡営業所／〒811-0119／福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX (092)963-1241

ロックペイントのインターネットホームページ <https://www.rockpaint.co.jp>

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。



販売店：